

平成22事業年度の特色ある取組(レジューメ)



OITA UNIVERSITY

平成23年9月2日
国立大学法人 大分大学

大分大学の基本的な目標

(第2期中期目標前文より)

本学は大分大学憲章が示す目標を達成すべく、有為な人材の育成に努めるとともに、教育・研究・医療・社会連携への取り組みを通して特色ある大学づくりを目指し、もって総合大学としての機能の高度化や地域における「知の拠点」としての役割を果たす。

1. 知識基盤社会に求められる人材の育成

基礎的な学力に裏打ちされた高い専門知識とともに、柔軟な思考力と創造性を身に付け、知識基盤社会で活躍できる自立した人材の育成を目指す。時代や社会の要請及び学問の発展に対応した人材育成を行うために、教育研究組織の再構築を目指す。

2. 特色ある大学づくり

大学の個性化と高度化を目指し、大学院レベルの教育で目指す「高度の専門職業人養成」、学部レベルの教育による「幅広い職業人養成」、及び全学的な教育、研究、医療活動が役割を担う「社会への貢献」において、本学の特色を発揮する。本学が「ナショナルセンター」に相応しい実績を有する分野については、「世界的な教育研究拠点」を目指す。

3. 地域社会との共生・発展

大分県に立地する唯一の国立大学として、この地域における「知の拠点」として機能するとともに、地域の活性化に貢献する「リージョナルセンター」としての役割を果たす。

4. 発展を支えるマネジメント体制と安定した経営基盤の構築

運営体制の改革と安定した経営基盤の構築に努め、弾力的で効率的な大学経営の実現を目指し、質の高い管理運営組織を整備する。

1-1 『持続的就業力を育む地域連携型キャリア教育』が「大学生の就業力育成支援事業」(GP)に採択 【最長5年間,年間約2,000万円】

「キャリア教育推進会議」を設置
平成23年2月「キャリア企画センター」を設置
平成23年2月キャリア教育コーディネーターを配置



キャリア企画センター

1-2 高等学校教育と大学教育の接続に関する主な取組

高大接続モデル事業

- ・ 産業界の求める高度なビジネススキルの育成を図る
「ビジネスセミナー」(高校3年生対象)を開講
- ・ 生徒による課題探求型学習を实践
- ・ 生徒による成果発表会を実施(大分県教育委員会, 県下高等学校・中学校教員も参加)

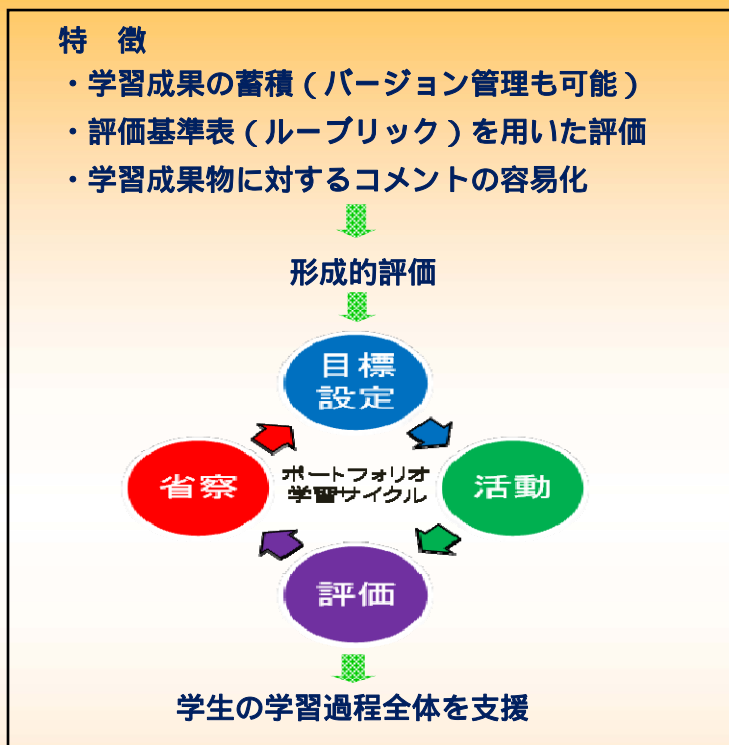
『学問探検ゼミを核とした高大接続教育』(平成20~22年度)
(平成20年度文部科学省質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)選定)

- ・ 【チャレンジ講座】
「文系チャレンジ講座」「理系チャレンジ講座」を開講(いずれも全8回)
対面授業, 遠隔配信授業
- ・ 【キャンパス大使】
学生64名をキャンパス大使として, 39の出身高校に派遣



チャレンジ講座の様子

1-3 形成的評価のためのポートフォリオシステムの開発



写真について、外部公開の許可を得ていませんので掲載できません。

協調学習風景（「大分大学を探ろう」より）

写真について、外部公開の許可を得ていませんので掲載できません。

期待される成果

学生・・・目標設定から始まる学習サイクルの形成，学習成果の相対化，
学びのふり返り

教員・・・形成的評価に基づく学習状況の把握，より正確な成績評価，
証拠と自己省察による授業改善

協調学習風景（「大分大学を探ろう」より）

平成22年度活用実績

問題解決型授業における協調学習（教養科目）「大分大学を探ろう」（受講生 89 名）、「成人教育方法入門」（受講生 43 名）

2. 特色ある大学づくり

2-1 イノベーション機構の改組

社会に対する窓口を明確化し、研究者・関連企業等に対する一貫した支援を行うため、「産学官連携推進機構」の設置を決定（平成23年4月1日設置）

2-2 全学研究推進機構の主導による重点領域研究プロジェクト

大型プロジェクト支援（学長裁量経費による配分）

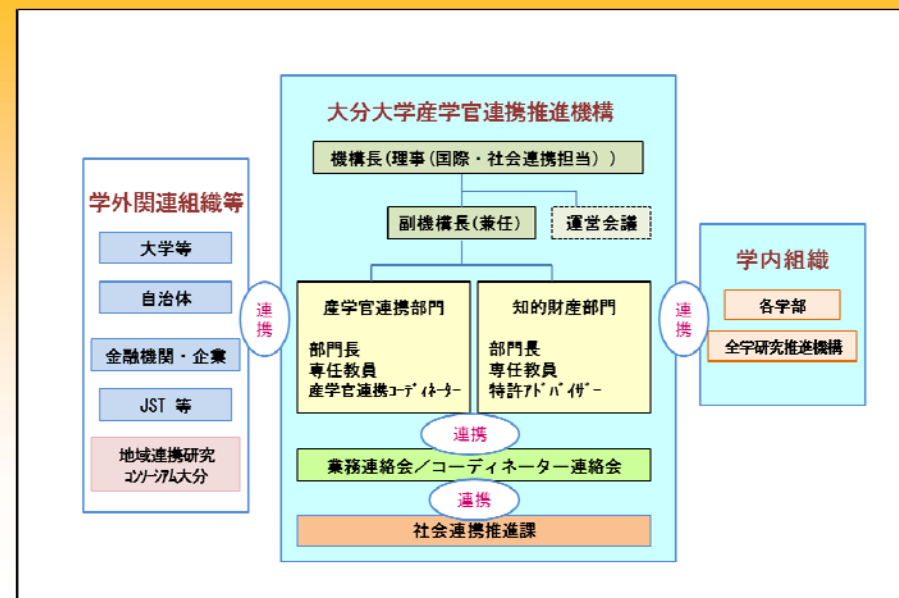
- 平成22年度実績 -

- ・ 7件のプロジェクトを採択（人間環境科学領域1件，生命科学領域1件，学際・複合・新領域5件）
- ・ 総額3,845万円を配分



上記に関連した研究により獲得につながった外部研究資金実績

- ・ 平成22年度最先端研究開発戦略的強化費補助金
「消化器感染症の最先端研究と中米におけるフィールド調査」【3年間で約4,500万円】
- ・ 平成22年度科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業個人型研究
「藻類由来光合成器官の電極デバイス化とバイオ燃料変換系への展開」【5年間で上限1億円】
- ・ 平成23年度環境省循環型社会形成推進科学研究費補助金
「バイオマス・二酸化炭素を原料としたソーラー燃料・化成品変換システムの構築に関する研究」
【3年間で約5,000万円】
- ・ 平成23年度科学研究費補助金
採択率38.29%（前年度比6.89ポイント上昇），採択額3億218万円（前年度比8,465万円増）



産学官連携機構運営図

3 - 1 地域連携研究コンソーシアム大分等における取組

地域連携研究コンソーシアム大分（平成 19 年度設置）

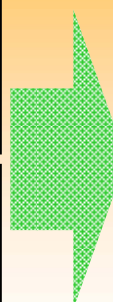
= 本学のリーダーシップのもとで運営し，大分県内 8 高等教育機関の共同研究により地域課題の解決を目指す組織

- 【平成 22 年度】・ 運営コーディネーターによる連携機関の研究者訪問，インタビュー実施
- ・ 研究者の専門領域等を紹介した研究者情報発信サイトを開設

とよのまなびコンソーシアムおおいた（平成 22 年度設置）

= 本学のリーダーシップのもとで運営し，大分県内 7 高等教育機関の「教育連携」に重点を置き大分県の教育レベル向上を目指す組織

- 【平成 22 年度】・ 「おおいた学びフェスタ」参加により，次年度の「大分地域大学等連携講座」のチラシ等による広報を開始した



大分高等教育協議会
（平成 23 年 5 月設置）

3 - 2 救命救急医療の充実

ドクターカー

- ・ 平成 22 年 4 月 本学医学部附属病院ドクターカー運用開始
- ・ 大分県下全域を対象
消防，医師，県知事の要請より，重篤な症例に対し出動
- ・ 平成 22 年度出動実績 **308 件**
- ・ 4 つの地域消防本部とドクターカーによる救命救急士の研修受入れ協定締結
「病院前救護」の連携を強化

ドクターヘリ

- ・ 平成 22 年 10 月 本学医学部附属病院が「大分県ドクターヘリ基地病院」に決定
- ・ 平成 24 年度のドクターヘリの導入，運用開始に向けて救命救急棟屋上ヘリポートの設計に着手

【大分大学から産まれた商品の一例】



柚子の力



フィットレストストレッチャー-NOBINOBI



空気清浄機



スホップ ヌン ムルマル ムルマル

4. 発展を支えるマネジメント体制と安定した経営基盤の構築

4-1 男女共同参画社会の実現に向けた取組と女性研究者支援

- 平成22年5月 平成22年度文部科学省科学技術振興調整費による
女性研究者モデル育成『地域で育む「輝く女性研究者」支援』
プロジェクト採択
- 平成22年7月 男女共同参画推進本部 設置
学長特別補佐(女性研究者支援担当)を配置
女性研究者サポート室設置
- 平成22年10月 「大分大学男女共同参画推進宣言」及び「男女共同参画行動計画」策定

女性研究者サポート室が行ったサポート事業の一部



設置された旦野原キャンパス休憩室



設置された挟間キャンパス休憩室



女性研究者奨励賞・学会参加費の募集案内

大分大学男女共同参画推進宣言

男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、21世紀の我が国における最重要課題です。

大分大学は、大学憲章において、基本理念として、「人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与する」ことを掲げています。この基本理念のもとで、大学としての機能の高度化や地域における「知の拠点」としての役割を果たしつつ、有為な人材の育成と教育研究の発展を目指して取り組んできました。これらの取組の進展が、公正・公平な男女共同参画を必須の前提とするものであることはいうまでもありません。

大分大学は、男女共同参画社会の実現に寄与することを本学に期待されている社会的使命の一つとして受け止め、以下の基本方針に基づき、別に定める具体的な行動計画を全構成員が一丸となって推進することをここに宣言します。

【基本方針】

- 男女共同参画推進体制の拡充
- 教育・研究・就業の場における男女共同参画の推進
- 家庭生活と教育・研究・就業との両立支援
- 大学運営における意思決定への男女共同参画の推進
- 地域社会との連携を通じた男女共同参画の推進
- 男女共同参画に関する啓発活動と教育研究の推進

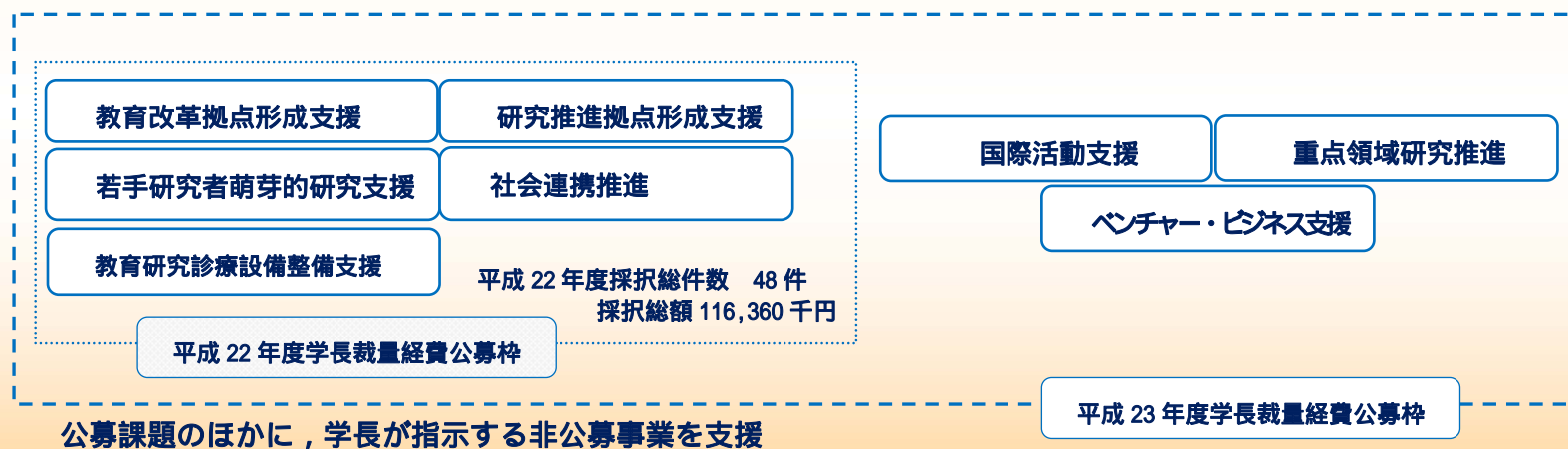
4 - 2 戦略的経費の重点的確保

【学長裁量経費】

戦略的教育研究事業等を一層推進するため、学長裁量経費を前年度比7,500万円増の2億7,000万円とした
 (平成22年度予算配分における重点化事業)

- ・学生の教育環境・生活環境の充実(前年度比約800万円増の2,000万円)
- ・大型プロジェクトの推進
- ・職員SD研修等

意欲的な取組を支援するための公募課題関係経費の一元化を決定(次年度から実施)



【中期目標達成積立金】

第2期中期目標・中期計画を達成するための経費として、平成22年度は約18億円を確保

4-3 施設有効利用調査の実施

使用している全ての部屋（附属病院及び図書館を除く）2,440室について、
書面調査と現地調査を実施

学内全室の使用者，使用用途等が把握可能なデータベースが完成
活用されていないスペースは，学長裁量スペースへ



現地調査の様子

【地域社会貢献活動の例】



「2010 おおいた市民おどりの祭典」に参加する
大分大学踊り隊（学長，役員等）



地域の小学校における大分大学工学部の技術職員
による「おもしろ科学実験室」



大分市内の商業施設における東日本大震災復興
支援チャリティコンサートに出演した本学職員
バンド

大分大学学歌

作詞 蛙屋 萬斎
作曲 道谷 増夫

一. 速吸瀬戸の 風寄せる

恵み豊かな この海は
無限の理想 膨らます
我らここに 学びては
深き叡智を 養いて
未知へと挑む 者ならん
ああ 大分大学 我らあり

二. 遠く山並み 仰ぎ見る

稔り豊かな この平野
自由の想い 強くする
我らここに 学びては
創造の気を 育みて
時代を導く 者ならん
ああ 大分大学 我らあり

三. 広く世界に 開かれた

歴史豊かな この地には
進取の気概 溢れたり
我らここに 学びては
その志 受け継ぎて
世界に羽ばたく 者ならん
ああ 大分大学 我らあり



渡辺恭英 画